

佐久市総合計画審議会 第2部会（第3回） 会議録

日時：平成30年8月31日（金）

午後1時30分～午後3時

場所：佐久市役所602会議室

【出席者】相馬部会長、渡辺副部会長、田村委員、柳沢委員、木鋪委員、松井委員、吉澤委員、丸山委員

【事務局】土屋企画課長、木下企画調整係長、大井（実）、中村

1 開 会

2 議 事

(1) 第2次佐久市総合計画前期基本計画の進行管理について

部会長	本日の第2部会では第3章について審議を行います。それでは、次第に基づき進行させていただきます。
事務局	【資料2】「第二次総合計画前期基本計画 平成29年度進行管理第2部会資料」第3章 力強い産業を営む活力と魅力あるまちづくり 「農業」（7ページ）について説明
委員	「人・農地プラン」とは何でしょうか。
事務局	「今後地域の農業の中心となる人を決めましょう」というプランです。
委員	私の住む地域では、農業の担い手がだんだんと少なくなっています。農地の集積も個人個人の思うところがある中で中々進まず、どうしたら良いのか、何か解決策はあるのでしょうか。
事務局	担い手の減少は、佐久市のみならず全国で同様の状況であり、施策としては担い手の経営規模を大きくするしかありません。 その大きくするための施策としましては、担い手の方々に対し国の様々な補助金がありますが、それらも「人・農地プラン」で、その担い手の方が「地域にとって重要な担い手」であることが地域の中で明確にされている、そういった方々が補助金の対象となるという制度設計になっています。 「人・農地プラン」について地域の中でしっかりと「もう担い手がないので、この農業者の方にお任せするしかない」という話し合いが進み、意識が地域の中で高まってくると、先ほど委員が懸念されていた、個人それぞれが思うところについても、「じゃあ、皆で決めたこの担い手の方に任せてみ

	<p>るか」と意思統一が図られていき、農地の集積が進んでいくといったものになっています。</p> <p>ただ、現在、この制度が地域に馴染んでいくことについては過渡期にあり、これから体制を整えていくという状況のため、そこまで理想的な段階にありません。今後数年かけて、地域の話し合いを継続的に進めていく中で対応していく、というのが実情です。それでも、率先して課題解決に取り組んでくださっている地区が市内に幾つか生まれてきており、そのような地区が増えていけば、全体の流れもそちらに加速していくのではないかと考えております。市とすると、そういった話し合いの機会を持つことを最重点として事業を進めているところです。</p>
委員	<p>やはり営農規模を大きくするしかないのでしょうか。</p>
事務局	<p>佐久市の特徴は、規模が小さい故に誰もが農業に携わるからこと健康長寿であるとか、農業には多面性があると思います。しかし、「産業としての農業」で見ると、これからは営農規模を拡大していくことが最重要課題だと市では捉えています。</p> <p>一方で「暮らしとしての農業」に対する支援は、これは別に継続して支援していきます。</p>
委員	<p>余談になりますが、知人も会社を退職後、年金をもらいながら百姓をやると言って、赤字でもささやかな利益で盛り上がる、良い人生だと思います。個人的には幸せな人生の過ごし方ですね。</p>
事務局	<p>おっしゃるとおりだと思います。</p>
委員	<p>新規就農の補助を受けた方々は定着しているのでしょうか。</p>
事務局	<p>新規就農施策に関しては、国でも相当優遇された支援金が5年間出ています。年間150万円を5年間出てまいりますので、そういった意味では初期段階の費用というのは、他の業種と比べると相当優遇されています。裏返すと、そのぐらい農業がひっ迫した状態にあるということではあります。いかに定着して、規模を拡大していくかというのが今一番重要な課題となっています。</p> <p>その辺りをやはり地域の協力、「農地をしっかりとその人に任せよう」という機運が醸成されていかないとなかなか拡大は進みません。</p>

	<p>佐久市の場合は、新規就農者に関しては、佐久地域の中でも相当優良な状況にあるというのは間違いありません。年間 10 人というとはそれほど多くはないと思われるかもしれませんが、他市町村と比べると相当な規模で推移をしています。</p>
委員	<p>農業をやっている友人に話を聞くと、やはりこれから人口減少が進んでいくので、国内市場が縮小してく中で、海外等を視野に入れて考えていかないと今後の農業は厳しいとのことですが、売り手側の課題はないのでしょうか。</p>
事務局	<p>海外への出荷に関しては、県レベルで現在輸出に係る検討が進められています。市といたしましても、県と情報共有を図りながら進めていきたいと考えております。</p>
部会長	<p>他にはないでしょうか。ただ今出た意見は、部会の報告の中に意見として付記をお願いします。よろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p>
部会長	<p>では、次の説明をお願いします。</p> <p>「水産業」(8ページ)について説明</p>
委員	<p>佐久鯉の新たな食べ方として、「刺身」を提案されていますが、「あらい」と「刺身」の違いを教えてください。</p>
事務局	<p>「あらい」は、鯉をさばいた後に水で洗い脂を抜いています。鯉はいくつか課題があって、食べる上で小骨が気になるということや、脂が抜けるとパサパサしてしまうということが昔から言われています。今回の「刺身」は、小骨に対して直角に薄づくりをすることによって、小骨が寸断され、残っているが気にならない程度の食感になります。さらに、それを熟成することにより、脂がのり「はまち」に似た見た目になります。「佐久鯉の刺身」は、佐久市に来ないと食べられないものです。実際に農業祭にも出したところ、佐久市民の皆さんにもとても好評だったということです。現在、これを進めていこうということで、官民連携して推進しています。</p>

委員	佐久鯉の良さは、脂がのっていることと、身が締まっているところが良いところだと思います。「あらい」も「刺身」もどちらでも食することができるので、販路拡大が期待できると思います。
事務局	普及については課題があり、域外にPRしていくことも一時検討がなされましたが、やはり前段階での市内での普及、佐久鯉が佐久市で当たり前で食べられるような状況、佐久市の店舗に行けばどこでも佐久鯉が食べられる状況が十分に整っていない中でのPRは費用対効果があまり期待できないのではないかと、との検討経過があります。そこで、域内普及のため、佐久鯉の新たな食べ方を研究し、「刺身」にたどり着きました。
委員	鯉のひつまぶしを1回食べたことがあります、食べた方々には好評でした。
部会長	他にはないでしょうか。ただ今出た意見は、部会の報告の中に意見として付記をお願いします。よろしいでしょうか。 (異議なし)
部会長	では、次の説明をお願いします。 「林業」(9ページ)について説明
委員	松くい虫の駆除とありますが、手法を教えてください。
事務局	松くい虫に感染した樹木を伐採し燻蒸する方法で駆除を行っています。
委員	予防の観点からの施策は行わないのでしょうか。
事務局	ヘリコプター消毒などの手法がありますが、様々な状況によって市にそぐわないため行いません。
委員	依然として標高800m以上の地域までは松くい虫の進出は有り得ないと言われていたものが、今は標高1,000mまで侵食が進んでいる状態です。東信地区はもうほとんどやられてしまい、アカマツはほぼ枯れている。対処療法的な手法ですと、いずれアカマツは全部無くなってしまいます。県の方でも対策

事務局	<p>を積極的に進めていただきたいです。</p> <p>他の市町村ですと、損害賠償を請求されてもいいから消毒を行うという方向に動いているところもあります。その自治体はマツタケの産地を抱えていることから、非常に重大な課題と捉え、消毒を行う方向で動いているようです。</p>
委員	<p>カラマツ材のブランド化には、森林整備が絶対に必要です。県の森林づくり県民税を使って整備を進めていただきたいと思います。整備が進まなければ良質な木材を確保することが出来ず、ブランド化は期待できません。</p> <p>また、松くい虫の話がありましたが、他の地区に移らないように事業を行ってくださっていることに感謝します。しかしながら、一定程度の予防的な手法を取らなければ、食い止めることが難しい状況にあると現状も認識していかなければならないと思います。</p> <p>佐久市の森林を見てもそこらじゅうでアカマツが枯れています。大切な地域資源である森林を我々が守っていく使命があると思うのです。枯らすことのないよう、努力していただきたいと思います。</p> <p>さらに、有害鳥獣の駆除について、個体を減らすことが重要だと思います。駆除は市町村の境界を超えて駆除することが出来ませんが、その点が対応が遅れている原因ではないかと思います。その辺りをもっと柔軟な対応ができれば良いと思います。</p>
委員	<p>有害鳥獣の処理について困っているという話を聞いたことがあります。とても多くの頭数を駆除しているため、処理が間に合わないということがあるそうです。</p>
事務局	<p>小諸市では駆除した鹿をペットフードに加工できる施設があるそうです。</p>
部会長	<p>他にはないでしょうか。ただ今出た意見は、部会の報告の中に意見として付記をお願いします。よろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p>
部会長	<p>では、次の説明をお願いします。</p> <p>「商業・サービス業」(10 ページ) について説明</p>

委員	<p>佐久市中小企業融資制度について、昨年度金利など、より使い勝手のよい制度になりました。しかしながら、例えば補助率で言いますと、小諸市の方では小規模の零細向けの融資はかなり手厚いことから、申請が殺到していると聞いています。長野県信用保証協会の保証を制度資金に付けるのですが、その保証料が、世の中の市場金利がマイナス金利と下がっている一方で、この保証料があまり変わっていない。できれば保証協会には保証料も弾力的なものになるように希望したいと思います。</p>
委員	<p>課題の中に記載されている「買い物弱者」について、移動販売車の運用などは考えられないでしょうか。</p>
事務局	<p>移動販売車の運用は難しいと思います。高齢者福祉課においてアンケートを実施しましたが、今のところ買い物は家族に頼むという方がほとんどという結果でした。しかしながら、何かしらの対策は必要かと考えております。</p>
委員	<p>高齢化が急速に進む中で、そのような対策を考えていくことは不可欠だと思います。よろしくをお願いします。</p>
部会長	<p>他にはないでしょうか。ただ今出た意見は、部会の報告の中に意見として付記をお願いします。よろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p>
部会長	<p>では、次の説明をお願いします。</p> <p>「観光」(11 ページ) について説明</p>
委員	<p>佐久市観光協会が今回、臼田地区の観光PRを行いました。これを受けてプルーンなどの問合せが多くありました。今後各地域でもこのような取組を行っていきと思いますが、ぜひ実施していただきたいと思います。</p>
委員	<p>ヘルシーテラス佐久南の今後の活用方法を教えてください。</p>
事務局	<p>ヘルシーテラス佐久南は、中部横断道沿線にあることから、市の入口という位置付けです。市の卓越性である「健康長寿」に特化した独自の色を出し</p>

委員	<p>ていこうということで、まず寄ってもらえるよう施設の魅力をPRし、さらに市内へ回遊していただけるように努めております。</p> <p>食事処でシナノユキマスや鯉料理は食べることは出来ますか。</p>
事務局	<p>そうになっていくのがベストだと思います。現在、指定管理者において経営的な観点も含めながら魅力づくりに努めております。ご意見は所管課にお伝えします。</p>
委員	<p>東御市の「雷電くるみの里」では、くるみのお餅などの地場産品が多く取り扱っていますが、ヘルシーテラス佐久南では特に食事に関しては少ないと感じました。</p>
事務局	<p>健康長寿食ということで、バイキング形式でトライしてくださっているところですが、健康長寿食はなかなか伝わりづらい部分があります。ご意見として承りました。</p>
委員	<p>信州ディステーションキャンペーンについて、JR東日本と連携したとの記載がありますが、佐久市には魅力的な観光スポットが数多くあるので、旅行会社と提携した取組を行うと良いと思います。</p>
部会長	<p>他にはないでしょうか。ただ今出た意見は、部会の報告の中に意見として付記をお願いします。よろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p>
部会長	<p>では、次の説明をお願いします。</p> <p>「工業」(12 ページ) について説明</p>
委員	<p>プレメディカルについて、佐久市内では元々営業に強い方が誰もいなくて、非常に試行錯誤していると聞きました。県と同じように、市側でも工業に強い方、専門家のような人材を配置して、官民連携で産業振興を推進すると良いと思います。</p>
委員	<p>例えば製造業の方は、商業に関わると上手くもっていかれてしまうのでは</p>

	<p>ないか、というように身構えてしまう部分が見られますが、商業だったら商業なりに繋がりがあるようなところを上手く合わせていくと、いろいろな見方ができると思います。</p>
委員	<p>例えば金融業でしたら金融業の嗅覚がある。製造業でしたらつくる嗅覚。農業では農業の嗅覚がありますから、それぞれの嗅覚を持った人材が集まると良い方向へ進んでいくのではないかと思います。</p>
部会長	<p>他にはないでしょうか。ただ今出た意見は、部会の報告の中に意見として付記をお願いします。よろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p>
部会長	<p>では、次の説明をお願いします。</p> <p>「就労・雇用」(13 ページ) について説明</p>
部会長	<p>ご意見はございますか。</p> <p>ないようですので、以上で本日の全ての審議が終了となります。事務局から何かございますか。</p>
事務局	<p>貴重なご意見ありがとうございました。</p> <p>これまでに出示されました部会としての評価やご意見、特記事項につきましては、部会長と事務局で内容をまとめまして、後日、事務局より、部会の報告書案としてお送りさせていただきます。</p> <p>委員の皆様には、内容をご確認の上、何かお気づきの点がございましたら、別途お知らせいただきたいと思います。</p> <p>なお、報告書の最終調整と、部会報告の内容につきましては、部会長一任ということで対応させて頂きたいと思いますので、よろしく願いいたします。</p> <p style="text-align: right;">(以 上)</p>

(2) その他

次回の開催：次回全体会議は、日程調整後にご連絡いたします。

3 閉会